

第1学年8組 外国語科（英語）学習指導案

平成22年11月17日

授業者 鎌田 真由美

1 単元名 Unit 6 グリーン家の人々(NEW HORIZON English Course Book1)

2 単元の目標

(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

- ・間違いを恐れずに積極的に話す。

(表現の能力)

- ・人について紹介する内容を、聞き手に正しく伝える。
- ・人について紹介する文を、語と語のつながりなどに注意して正しく書く。
- ・人についてたずねたり、それに適切に応答する。

(理解の能力)

- ・人の紹介を聞いて、その内容を正確に聞き取る。
- ・人について書かれた文の内容を、正確に読み取る。

(言語・文化についての知識・理解)

- ・一般動詞の三人称単数現在形（肯定文・疑問文・否定文）の形・意味・用法を理解する。

3 学習の基盤（生徒観は省略）

本単元は、グリーン先生が写真を見せながら家族を紹介するという場面を扱っている。文法事項としては、Part 1 では三人称単数現在形の肯定文、Part 2 では疑問文、Part 3 では否定文が取り上げられている。このように第三者に関する情報のやりとりに焦点が当てられていることから、生徒にも家族や友達、有名人などについて紹介したり、互いにたずねるなどのコミュニケーション活動を行わせるのに適した単元であると言える。その際、スピーチ活動を取り入れ、絵や実物を示して聞き手の理解を容易にするなどの工夫をさせることも可能である。また、内容としては紹介される人がカナダ在住となっており、日本・アジアとの文化的接点に目を向けさせる良い機会にもなると考えられる。

本単元の指導を通して、第三者についての情報をやりとりする力を養いたい。これまでのbe動詞を用いた表現に、一般動詞を用いた表現が加わることによって、より多様なコミュニケーションが可能になる。初めは一般動詞に-sを付け忘れるなどのミスが多いことも予測されるが、コミュニケーション活動など発表の場では、形式の完全さだけにこだわらず、伝えようとする意欲や態度、これまでに学んできた言語材料を駆使してい

るかどうかを評価したい。

指導の流れとしては、一人称・二人称・三人称の一般動詞を使った文でオーラルイントロダクションを行う。それらを対比しながら「形が変わるが、意味や働きは同じ」ということを確認する。すぐには定着しにくい文法規則なので、パターンプラクティスやペア・グループでのインタビュー活動を通して発話量を十分に確保し、「言って」「聞いて」くり返しながらかえられるようにしたい。また、be動詞と一般動詞の混在というつまづきを解消するために、単元の後半ではあえて両方を用いた英文を活用し、より多くの表現に挑戦できるようにしたい。最終的には、「これは誰？」クイズをタスクとして設定し、自分の身の回りの人について自由に問答できることをめざす。

4 単元の評価規準

ア. コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ. 表現の能力	ウ. 理解の能力	エ. 言語や文化についての知識・理解
間違いを恐れず積極的に話している。 (話ア取)	① 人について紹介する内容を、聞き手に正しく伝えることができる。 (話イ正) ② 人について紹介する文を、語と語のつながりなどに注意して正しく書ける。 (書イ正) ③ 人についてたずねたり、それに適切に応答することができる。 (話イ適)	① 人の紹介を聞いて、その内容を正確に聞き取ることができる。 (聞ウ正) ② 人について書かれた文の内容を、正確に読み取ることができる。 (読ウ正)	一般動詞の三人称単数現在形(肯定文・疑問文・否定文)の形・意味・用法を理解している。 (話エ言・書エ言)

5 単元の指導計画(全9時間)

	主な学習内容	評価規準	評価方法
第一次	・三単現の肯定文の導入(オーラルイントロダクション) ・口頭による三単現の肯定文のパターンプラクティス	ア	観察(発言)

～ 2 時 間 ～	<ul style="list-style-type: none"> 教科書 p 50-51 (Part1) の内容理解 三単現の肯定文練習問題 (ワークシート) 	ウ②	観察 (発言)
第 二 次 ～ 2 時 間 ～	<ul style="list-style-type: none"> 三単現の疑問文の導入 (オーラルイントロダクション、ALTとのチームティーチング) 口頭による三単現の疑問文のパターンプラクティス 三単現の疑問文を用いるコミュニケーション活動 (ALTの家族の紹介を聞き、質問する) 	ア イ③ ウ①	観察 (発言) 観察 (発言) ワークシート
	<ul style="list-style-type: none"> 教科書 p 52 (Part2) の内容理解、暗唱 三単現の疑問文練習問題 (ワークシート) 	ウ②	観察 (発言)
第 三 次 ～ 2 時 間 ～	<ul style="list-style-type: none"> 教科書 p 53 (Part3) の内容理解 三単現の否定文練習問題 (ワークシート) 	ウ②	観察 (発言)
	<ul style="list-style-type: none"> 口頭により人を紹介する活動 練習問題 (be動詞と一般動詞を使った肯定文・否定文) 	イ① エ	観察 (発言) ワークシート
第 四 次 ～ 3 時 間 ～	<ul style="list-style-type: none"> 練習問題 (be動詞と一般動詞を使った疑問文) プレ・タスク活動 (「これは誰？」ペアでクイズ) 	エ ア	ワークシート 観察 (机間指導)
	(本時) <ul style="list-style-type: none"> タスク活動 (「これは誰？」グループでクイズ) 人について紹介する英作文 	ア イ② イ③	観察 (発言) ワークシート 観察 (発言)
	<ul style="list-style-type: none"> スピーチテスト (身の周りの人について紹介する) 	ア イ①	スピーチテスト

6 本時の学習

- 目標
- 間違いを恐れず積極的に話す。
 - 人についてたずねたり、それに適切に応答する。
 - 人について紹介する文を、語と語のつながりなどに注意して正しく書く。

○展開

	学 習 活 動	教 師 の 支 援	評 価
導 入	<p>○Warm-Up</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ ・一般動詞リストのペアチェック 	<ul style="list-style-type: none"> ・明るい雰囲気づくりを心がける。 ・活動が滞っているペアには、ヒントを与える。 	
展 開	<p>○タスク活動</p> <p>“Who is he? Who is she?” (人についてたずねたり、それについて応答して人物を当てる Jeopardy形式のクイズ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例を聞いてクイズのやり方を理解する。 ・ Does ～? Is ～ ? 等を使って教師に質問し、教師の答えを聞いてカードの人物が誰かを当てる。 ・ 2周目は質問するグループ、答えるグループに分かれる。 <p>○英作文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クイズに出てきた人物の中から2人を選び、その人について紹介する英文を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・例を示し、クイズのやり方を知らせる。 ・ Does ～? Is ～ ? を例に取り入れて、使いたい表現を示す。 ・ 1周目は質問に教師が答え、2周目のヒントとする。 ・ be 動詞と一般動詞の混在等については、さりげなく言い直して違いに気づかせたい。 ・質問や答えにとまどう生徒がいる際には、グループで協力するように促す。 ・質問例文にこだわらず、相手の答えに応じて、次の質問を考えるように促す。また、そのようにして自発的に出た表現を評価する。 ・例を示し、必要に応じて個別支援する。 	<p>ア イ③ 観察(発言)</p> <p>イ② ワークシート</p>
ま と め	<p>○まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日のまとめと次時の予告を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本日のまとめと次時の予告をする。 	

○本時の具体的な評価

評価規準	十分満足できると判断される生徒の具体例	おおむね満足できると判断される生徒の具体例	努力を要すると判断される生徒への具体的な支援
間違いを恐れずに積極的に話している。	間違ふことを恐れず発音したり、積極的に質問したりして活発に取り組もうとしている。	間違ふことを恐れずに発話しようとしている。	間違ふことを恐れたり、恥ずかしがったりして発話しようとしていない生徒には、グループ内で協力するように促す。
人についてたずねたり、それについて適切に回答することができる。	Does～？やIs～？等を用いて状況に応じた質問をすることができる。 質問されたことにYes, Noで答え、さらに補足の情報を言うことができる。	Does～？やIs～？等を用いて質問することができる。 質問されたことにYes, Noで答えることができる。	質問できなかつたり、質問されたことに対して答えることができない生徒には、ジェスチャーを示したり語彙のヒントを与える。
人について紹介する文を、語と語のつながりなどに注意して正しく書ける。	be動詞と一般動詞を適切に使い分け、正しい語順で5文程度の人物紹介が書ける。	be動詞と一般動詞を使い分け、内容が伝わるように3～4文程度の人物紹介が書ける。	be動詞と一般動詞が混在する文を書いている生徒には、一般動詞リストを示して間違いに気づかせる。 英文を書こうとしない生徒には、例文を少しずつ変えて書くように助言する。

Who is he? Who is she?

※ ペアで「これは誰?クイズ」をします。男子は男の人、女子は女の人を決めて書きましょう。それがクイズの答えになります。お互いに“Does ~ ?” “Is ~ ?” などの質問をして当てます。

TV stars (芸能人)	Athletes (スポーツ選手)	Cartoon characters (マンガ・アニメ登場人物)	Teachers in 1-chu (1中の先生)
相手のを当てた ・ 相手に当てられた	相手のを当てた ・ 相手に当てられた	相手のを当てた ・ 相手に当てられた	相手のを当てた ・ 相手に当てられた

- ① () he an ()? 彼は動物ですか。
- ② () he a ()? 彼は学生ですか。
- ③ () she () Japan? 彼女は日本出身ですか。
- ④ () () young? 彼は若いですか。
- ⑤ () () tall? 彼は背が高いですか。
- ⑥ () () beautiful? 彼女は美しいですか。

- ⑦ () he () soccer? 彼はサッカーをしますか。
- ⑧ () she () English? 彼女は英語を話しますか。
- ⑨ () he () a *Dokodemo-Door*? 彼はどこでもドアを持っていますか。
- ⑩ Does she () any brothers? 彼女は兄弟がいますか。
- ⑪ Does she () long hair? 彼女は髪が長いですか。
- ⑫ Does he () glasses? 彼はメガネをかけていますか。
- ⑬ () she have a ()? 彼女は夫がいますか。
- ⑭ () he () () Japan? 彼は日本に住んでいますか。
- ⑮ () he () science? 彼は理科を教えていますか。
- ⑯ () he () computers? 彼はコンピューターを使いますか。
- ⑰ () he () hamburgers? 彼はハンバーガーが好きですか。
- ⑱ () she ()? 彼女は運転しますか。
- ⑲ () sport () he play? 彼は何のスポーツをしますか。
- ⑳ What's () () food? 彼の好きな食べ物は何かですか。
- () old () she? 彼女は何才ですか。

Write about famous people!

☆ クイズに出てきた人物について書こう。(一人を選ぶ。目標5文以上。)

(例) Ichiro is a baseball player. (イチローは野球選手です。)

He is from Japan. (彼は日本出身です。)

But he doesn't live in Japan now. (しかし彼は今日本に住んでいません。)

He lives in America. (彼はアメリカに住んでいます。)

He plays baseball very well. (彼はとても上手に野球をします。)

He has a dog. (彼は犬を飼っています。)

His wife is from Shimane. (彼の奥さんは島根出身です。)

I like Ichiro very much. (私はイチローがとても好きです。)

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

シールはN. 13にはろう

Name()